



イノシシに出会った時は…

① 近づかない

ほとんどの場合はしばらくすると自然と山に帰っていきます。犬などを連れていけると、敵と判断して攻撃しえることがあるので、十分に注意してください。



② ゆっくり後退し、静かに立ち去る

立ち去ることが難しいときは、安全な場所でイノシシが立ち去るまでやり過ごしてください。安全な場所から、音を立てるなどして、人がいることを知らせましょう。



③ 威嚇したり、驚かせたりしない

むやみに興奮させると危険です。



イノシシが物陰などにいる場合があります。びっくりさせて突発的な事故を防ぐため、

イノシシの出没のおそれがある場所では、特に夜に出歩くときは、音や光でこちらの気配を知らせるようにしましょう。



どうして被害がなくなるらない?



北九州市では市民生活に被害をもたらすイノシシを捕獲しています。

(単位:頭)

年 度	H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
捕獲頭数	773	1,033	1,321	1,554	1,341	1,612

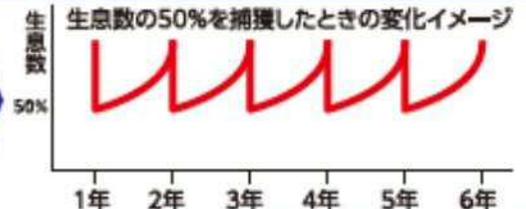
これだけ捕獲してもイノシシによる被害は無くなりません。

なぜか?

それは…イノシシがとても繁殖能力が高い動物だからです。

- 早い性成熟
- 高い妊娠率
- 多い産子数
- 基本的に年1産
- 1歳までに約50%が死亡

捕獲しても次の年には元の数に戻ってしまいます。



農林水産省「野生鳥獣被害防止マニュアル」参照

捕獲するだけでは、根本的な解決にはなりません。

だから



イノシシを近づけない工夫をし、イノシシと上手に付き合っていくことが大切です。

中面にヒントを記載しています。



イノシシを呼び寄せない環境づくりが大切です。

地域みなさんで力を合わせ、イノシシが近づきにくい環境を作りましょう!!



① 餌付けをやめよう!

イノシシが街なかに出てくる最大の目的はエサです。食べ物のない場所はイノシシにとって魅力がありません。

「故意の餌付け」だけでなく、「知らないうちに行っている餌付け」に注意

● エサを与えない

- ・人慣れしてしまい、頻繁に出没するようになる。
- ・予想もしていない動きでケガをさせられる可能性がある。



● 犬やネコのエサを正しく管理

- ・片付けまで責任をもって行う。
- ・エサを放置しない。



● 家庭菜園の管理

- ・柵などを仮設し、侵入を防ぐ。



● ゴミ出しマナーの徹底

- ・袋の口をきちんと結ぶ
- ・ゴミ出しの時間を守る
- ・柵の利用や金属製のゴミ箱の利用も効果的。



② イノシシの隠れ場所をなくそう!

・地域の皆さんで協力し、草刈りや清掃を行う。



③ イノシシの侵入を防ごう!

・イノシシの侵入路や自宅の侵入してほしくない場所に、柵やトタン、ネットなどを設置。



人間とイノシシがともに
幸せに暮らすために
「棲み分け」が必要です。

